

(2) 植物の生育状況

1) 植物相及び植生の概要（陸域）

① 植物相

事業実施想定区域が位置する北九州市（小倉北区、戸畑区、若松区、門司区）における文献その他の資料による陸域の植物相の概要は、表 3.1-71 のとおりである。

シダ植物 103 種、種子植物 348 種、計 451 種が確認されている。

表 3.1-71 陸域の植物相の概要

分 類		既存資料による主な出現種
シダ植物		オニトウゲシバ、ヒメクラマゴケ、シナミズニラ、スギナ、オオハナワラビ、ゼンマイ、コウヤコケシノブ、コシダ、カニクサ、オオキジノオ等 103 種
種子植物	裸子植物	アカマツ、クロマツ、イヌマキ、イヌガヤ、カヤ 5 種
	被子植物	サネカズラ、フウトウカズラ、ヤブニッケイ、アオガシ、シバナ、カワツルモ、ヒナラン、クゲヌマラン、アケボノシュスラン、コケイラン、ツユクサ、ホシクサ、ヒゲスゲ、アカネスゲ、ダンチク、カゼクサ、ハチジョウススキ、メダケ、ツクシキケマン、ムベ、ナンテン、センニンソウ、ヒメウズ、タコノアシ、ヒナノキンチャク、コバノチョウセンエノキ、イヌビワ、ケナガバヤブマオ、ゲンカイヤブマオ、コアカソ、アオミズ、クリ、アカガシ、コナラ、イヌシデ、アカメガシワ、ヤマヤナギ、アゼオトギリ、ミズスギナ、ヤマハタザオ、オオバタネツケバナ、ハマダイコン、ハマサジ、ナガバノウナギツカミ、ハルタデ、アキノウナギツカミ、ミチヤナギ、ギシギシ、オランダミミナグサ、ツメクサ、サワハコベ、ヒメシロビユ、アオゲイトウ、シロザ、オカヒジキ、バイカウツギ、ハマボッス、ハマサオトメカズラ、フナバラソウ、コキクモ、ホトケノザ、ミカワタヌキモ、アサザ、ヨメナ、シマカンギク、ホソバオグルマ、モウコタンボポ、ヤドリフカノキ、ハクサンボク等 343 種
種子植物 計		348 種
総 計		451 種

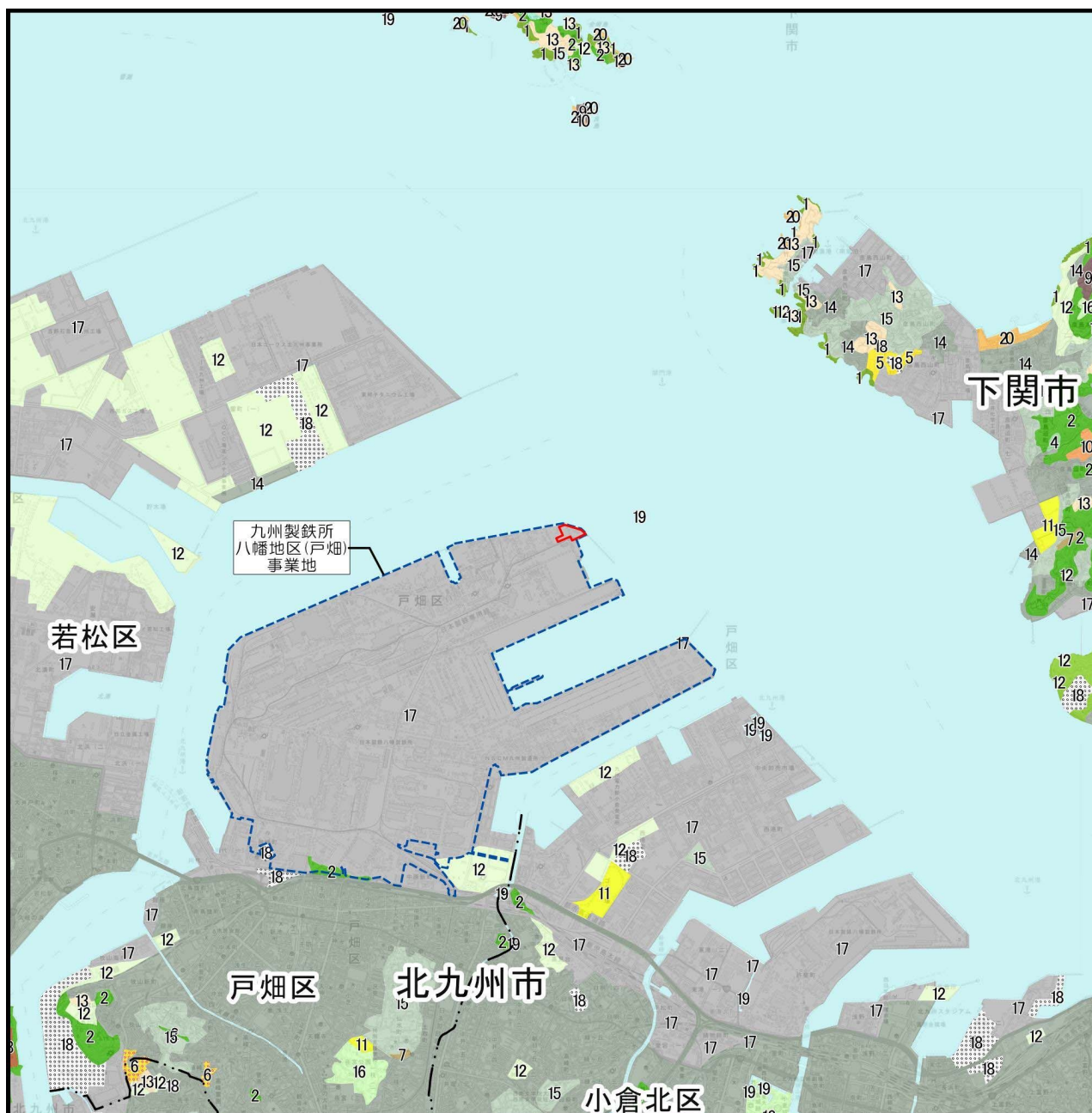
1. 「福岡県植物目録 第1巻（シダ植物）」（福岡植物研究会、昭和63年）
2. 「北九州市の希少野生生物」（北九州市、平成20年）
3. 「福岡県植物目録 第2巻」（福岡植物研究会、平成4年）
4. 「自然環境調査Web-GIS（第4、6回巨樹・巨木林調査）」（環境省HP、平成5年、平成17年）
5. 「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2011（植物群落・植物・哺乳類・鳥類）」（福岡県、平成23年）
6. 「指定文化財」（北九州市、令和6年9月閲覧）
7. 「わたしたちの自然史 第123号～第155号」（北九州市自然史・歴史博物館自然史友の会、平成25年～令和5年）
8. 「福岡県の希少野生生物ー福岡県レッドデータブック2024ー」（福岡県、令和7年）

より作成

② 植生

事業実施想定区域及びその周辺の現存植生図は、図 3.1-34 のとおりである。

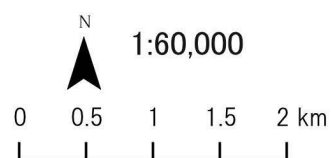
事業実施想定区域及びその周辺は、主に工場地帯、造成地、開放水域等となっており、一部に路傍・空地雑草群落、ゴルフ場・芝地等の草地、シイ・カシ二次林等の樹林地が分布している。



凡例

事業実施想定区域

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 マサキートベラ群集 | 11 ゴルフ場・芝地 |
| 2 シイ・カンシ二次林 | 12 路傍・空地雑草群落 |
| 3 タブノキ・ヤブニッケイ二次林 | 13 畑雑草群落 |
| 4 コナラ群落(VII) | 14 市街地 |
| 5 ススキ群落(VII) | 15 緑の多い住宅地 |
| 6 チガヤーススキ群落 | 16 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等 |
| 7 スギ・ヒノキ・サワラ植林 | 17 工場地帯 |
| 8 アカマツ植林 | 18 造成地 |
| 9 クロマツ植林 | 19 開放水域 |
| 10 竹林 | 20 自然裸地 |



「自然環境調査 Web-GIS」(環境省生物
多様性センターウェブサイト、令和 7
年 7 月閲覧) より作成

図 3.1-34 現存植生図

2) 重要な種及び重要な群落の概要（陸域）

① 重要な種

既存資料に記載されている確認種について、表 3.1-72 に示す選定根拠に基づき、学術上又は希少性の観点から重要な種を選定した。

重要な種は表 3.1-73 のとおりであり、事業実施想定区域及びその周辺において、シダ植物 6 種、種子植物 88 種が確認されている。

表 3.1-72 陸域の植物の重要な種及び重要な群落の選定根拠及びランク

選定根拠		参考文献等
全 国	① 「文化財保護法」により指定されているもの	・国指定特別天然記念物（特天） ・国指定天然記念物（国天） ・「文化財保護法」（昭和25年法律第214号） 「天然記念物緊急調査」（文化庁、昭和50年）
	② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により指定されているもの	・国内希少野生動植物種（国内） ・国際希少野生動植物種（国際） ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律第75号）
	③ 「レッドリスト」（環境省）に取り上げられているもの	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧ⅠA類（CR） ・絶滅危惧ⅠB類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・「第5次レッドリスト（植物・菌類）の公表について」（環境省、令和7年）
	④ 「自然環境保全基礎調査」に取り上げられているもの	・特定植物群落（特定） ・「第2回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁、昭和54年） ・「第3回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁、昭和63年） ・「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（環境庁、平成12年）
	⑤ 植物群落に関する「データブック」に取り上げられているもの	・緊急に対策必要（ランク4） ・対策必要（ランク3） ・破壊の危惧（ランク2） ・要注意（ランク1） ・「植物群落レッドデータ・ブック」（我が国における保護上重要な植物種及び植物群落研究委員会植物群落分科会、平成8年）
福 岡 県	⑥ 「福岡県文化財保護条例」により指定されているもの	・県指定天然記念物（県天） ・市指定天然記念物（市天） ・学術上価値の高い生物群集及び生物 ・「福岡県文化財保護条例」（昭和30年条例第25号） ・「北九州市文化財保護条例」（昭和45年条例第32号） ・「天然記念物緊急調査 40 福岡県」（文化庁、昭和52年）
	⑦ 「福岡県希少野生動植物の保護に関する条例」により指定されているもの	・指定希少野生動植物（指定） ・「福岡県希少野生動植物の保護に関する条例」（令和2年福岡県条例第42号）
	⑧ 「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2024－」に取り上げられているもの	・絶滅（EX） ・野生絶滅（EW） ・絶滅危惧ⅠA類（CR） ・絶滅危惧ⅠB類（EN） ・絶滅危惧Ⅱ類（VU） ・準絶滅危惧（NT） ・情報不足（DD） ・「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2024－」（福岡県、令和7年）
	⑨ 「自然環境保全基礎調査」に取り上げられている巨樹・巨木林	・巨樹・巨木林 ・「第4回、第6回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹、巨木林 九州、沖縄版」（環境省、平成5年、平成17年）

表 3.1-73(1) 重要な種（陸生植物）

No.	科名	種名	選定根拠					
			全 国			福岡県		
			①	②	③	⑥	⑦	⑧
1	ミズニラ科	シナミズニラ			VU			CR
2	イノモトソウ科	ミズワラビ（ヒメミズワラビ）						NT
3	チャセンシダ科	コタニワタリ						CR
4	ヒメシダ科	テツホシダ						EN
5	メシダ科	ミドリワラビ						VU
6	オシダ科	タチデンド						EN
7	トチカガミ科	ムサシモ			EN			CR
8		ミズオオバコ			NT			EN
9	シバナ科	シバナ			NT			VU
10	ヒルムシロ科	センニンモ						EN
11		ヒロハノエビモ						CR
12		ツツイトモ			VU			CR
13		リュウノヒゲモ			NT			EN
14	カワツルモ科	カワツルモ			NT			EN
15	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ			NT			NT
16	ラン科	ヒナラン			VU			CR
17		シラン			NT			NT
18		キエビネ			VU			EN
19		ギンラン						VU
20		キンラン			NT			VU
21		クゲヌマラン			VU			CR
22		ユウシュンラン			NT			CR
23		ササバラン			VU			CR
24		タシロラン			NT			VU
25		ベニシュスラン						EN
26		アケボノシュスラン						NT
27		ムカゴソウ			VU			EN
28		ホクリクムヨウラン						CR
29		クモキリソウ						VU
30		ハツシマラン		国内	EN			EN
31		コケイラン						VU
32		ジンバイソウ						EN
33		マイサギソウ						CR
34		ヤマトキシソウ						CR
35	ガマ科	ヤマトミクリ			NT			EN
36		ヒメミクリ			VU			CR
37	ホシクサ科	オオホシクサ						EN
38		ホシクサ						NT
39		ツクシクロイヌノヒゲ						VU
40	イグサ科	ヒロハノコウガイゼキショウ						CR
41		イヌイ						EX
42		ドロイ						EX
43	カヤツリグサ科	ダイセンスゲ						EN
44		ヤガミスゲ						VU
45		キノクニスゲ			NT			NT
46		アカネスゲ			VU			CR
47		ツクシナルコ			EN			NT
48		スジヌマハリイ			VU			CR

表 3.1-73(2) 重要な種（陸生植物）

No.	科名	種名	選定根拠					
			全 国			福岡県		
			①	②	③	⑥	⑦	⑧
49	イネ科	ヒナザサ			NT			VU
50	メギ科	バイカイカリソウ						EN
51	ベンケイソウ科	ゲンカイイワレンゲ			VU			EN
52	タコノアシ科	タコノアシ			NT			NT
53	ヒメハギ科	ヒナノキンチャク			NT			CR
54	イラクサ科	ゲンカイヤブマオ						EN
55		ミヤコミズ						EN
56	カバノキ科	ハンノキ						EN
57	スマレ科	アケボノスミレ						CR
58	アマ科	マツバニンジン			CR			CR
59	オトギリソウ科	アゼオトギリ			EN			EN
60		ツクスキオトギリ			VU			EN
61	ミソハギ科	ミズスギナ			CR		指定	CR
62	アオイ科	ハマボウ						NT
63	イソマツ科	ハマサジ			NT			NT
64	タデ科	ナガバノウナギツカミ			NT			VU
65		オオネバリタデ						VU
66		ネバリタデ						DD
67	ナデシコ科	オオヤマフスマ						EN
68		ウシオツメクサ						DD
69	アジサイ科	バイカウツギ						NT
70	リンドウ科	コケリンドウ						CR
71		イヌセンブリ			NT			EN
72	キョウチクトウ科	フナバラソウ			NT			VU
73	オオバコ科	マルバノサワトウガラシ			NT			CR
74		コキクモ			VU			CR
75		イヌノフグリ			NT			EN
76		カワヂシャ			NT			NT
77	シソ科	ミズトラノオ			VU			EN
78		コナミキ			VU			CR
79	タヌキモ科	ノタヌキモ			VU			EN
80		ミカワタヌキモ			EN			CR
81	キキョウ科	サワギキョウ						VU
82	ミツガシワ科	ガガブタ			NT			VU
83		アサザ			NT			EN
84	キク科	サワシロギク						CR
85		ダルマガク						NT
86		オケラ						EN
87		モリアザミ						CR
88		ヒゴタイ			VU			CR
89		ホソバオグルマ			VU			EN
90		ホソバニガナ			EN			EN
91		アキノハハコグサ			EN			DD
92		モウコタンポポ						EN
93		ウラギク			NT			EN
94	セリ科	ヤマゼリ						EN
合計	41 科	94 種	0 種	1 種	51 種	0 種	1 種	94 種

注：1. 種の分類及び配列は原則として、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和5年）に従った。
2. 重要な種の選定根拠は表 3.1-58に対応する。
3. 「－」は、該当がないことを示す。

② 重要な群落

既存資料に記載されている群落について、表 3.1-72 に示す選定根拠に基づき、学術上又は希少性の観点から重要な群落を確認した結果、事業実施想定区域及びその周辺において重要な群落は確認されなかった。

③ 巨樹、巨木林

既存資料に記載されている巨樹、巨木林について、表 3.1-72 に示す選定根拠に基づき選定した。事業実施想定区域及びその周辺における巨樹、巨木林は、表 3.1-74 及び図 3.1-35 のとおりである。樹種としては、ハゼがある。

表 3.1-74 巨樹・巨木林

図中番号	樹種	幹周 (cm)	樹高 (m)	所在地
1	ハゼ	332	8	北九州市

注：図中番号は、図 3.1-35の番号に対応する。
「自然環境調査Web-GIS Shape データ（巨樹、巨木林第6回）」
（環境省生物多様性センターHP、令和7年7月閲覧）より作成



図 3.1-35 巨樹・巨木林の位置